

## お詫びと訂正

このたびは、日立アドバンストサーバ HA8000/RS210[2012年11月～モデル]（以下 システム装置）または HA8000/RS110-h[2012年11月～モデル]（以下 システム装置）をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

『ユーザーズガイド』に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

また、「Hitachi Compute Systems Manager」のバンドル開始について本書の巻末に記載しております。ご参照いただきますようお願い申し上げます。

### ■ユーザーズガイド～導入編～

- ・「5 仕様」「5.1 システム装置の仕様」「5.1.1 RS210 AM1/DM1 モデル」（P.62）
- ・「5 仕様」「5.1 システム装置の仕様」「5.1.2 RS210 BM1/EM1 モデル」（P.65）

誤		
シリーズ		HA8000/RS210
モデル		...
...		
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM)
	...	...
...		

  

正		
シリーズ		HA8000/RS210
モデル		...
...		
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM) <b>8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM)...</b>
	...	...
...		

- 「5 仕様」「5.1 システム装置の仕様」「5.1.4 RS110-h HM1/LM1 モデル」(P.71)
- 「5 仕様」「5.1 システム装置の仕様」「5.1.5 RS110-h KM1/MM1 モデル」(P.74)

誤		
シリーズ		HA8000/RS110-h
モデル		...
...		
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM)
		...
...		
正		
シリーズ		HA8000/RS110-h
モデル		...
...		
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM) <b>8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM)</b>
		...
...		

## ■ユーザーズガイド～運用編～

- 「3 システム装置の機能」「3.5 メモリーRAS 機能」「3.5.1 オンラインスペアメモリーについて」(P.46)

### 表に次の内容を追加

形名	メモリー容量	ランク数
<b>MJ708GL3</b>	<b>8192MB</b>	<b>2</b>
<b>MJ716GL3</b>	<b>16384MB</b>	<b>2</b>
<b>MJ748GL3C</b>	<b>49152MB (16384MB x 3 枚)</b>	<b>2</b>
<b>MJ748GL3SEX</b>	<b>49152MB (8192MB x 6 枚)</b>	<b>2</b>
<b>MJ796GL3SEX</b>	<b>98304MB (16384MB x 6 枚)</b>	<b>2</b>

- 「3 システム装置の機能」「3.5 メモリーRAS 機能」「3.5.1 オンラインスペアメモリーについて」(P.48)

### 表に次の内容を追加

搭載メモリーボード	1 チャネルあたりのスペアメモリー容量
<b>MJ708GL3: 8192MB</b>	<b>4096MB</b>
<b>MJ716GL3: 16384MB</b>	<b>8192MB</b>
<b>MJ748GL3C: 49152MB (16384MB x 3 枚)</b>	<b>8192MB</b>
<b>MJ748GL3SEX: 49152MB (8192MB x 6 枚)</b>	<b>4096MB</b>
<b>MJ796GL3SEX: 98304MB (16384MB x 6 枚)</b>	<b>8192MB</b>

- ・「4 運用上の注意事項」「4.1 VMware 運用上の注意事項」「4.1.1 vSphere Client の「健全性ステータス」表示の取り扱いについてのお願い」(P.56)

#### 次の内容を追加

補足

システム装置にオプションの電源ユニットを搭載しておらず、冗長構成ではない場合、vSphere Client の「健全性ステータス」において次のセンサーが「Redundancy lost」(冗長性の失効)となり、ステータスが「警告」と表示されます。

- ・「電源」センサーの Power Unit の Redundancy

冗長構成が可能なコンポーネントでありながら冗長化されていないため、上記表示となります。エラーではありません。この場合表示を無視してください。

なお、電源ユニットを冗長構成にしていてエラーが発生した場合、ステータスは「アラート」と表示されます。

- ・「4 運用上の注意事項」「4.1 VMware 運用上の注意事項」(P.56)

#### 次の内容を追加

### 4.1.2 VMware vSphere ESXi 5.5 使用時のシステム BIOS 設定変更について

VMware vSphere ESXi 5.5 をインストールおよび操作する場合、システム BIOS のセットアップメニューにおいて「EHCI Hand-off」(EHCI ハンドオフ機能) 設定を「Enabled」に変更する必要があります。詳細は『ユーザーズガイド～BIOS 編～』「1.2.3 Advanced：拡張メニュー」「(8)USB Configuration：USB 機能設定サブメニュー」をご参照ください。

「EHCI Hand-off」の設定を変更せず「Disabled」のままの場合、USB デバイスが動作しません。このためキーボードやマウス、外付けの DVD-ROM ドライブなどが使用できません。

- ・「4 運用上の注意事項」「4.3 システムクロックに関する注意事項」「4.3.1 UTC 設定の注意事項について」「(2) VMware の場合」(P.61)

#### 次の内容を追加

- 「Hitachi Compute Systems Manager」に通知されるアラートの発生日時はシステム BIOS の時刻で表示され、OS の表示時刻から 9 時間遅れた時刻が表示されます。

## ■ユーザーズガイド～オプションデバイス編～

- 「3 メモリーボードを取り付ける」「3.1 メモリーボードの種類」「3.1.1 メモリーボードの種類」(P.18)

### 誤

メモリーボードは 20 種類あります。出荷時のメモリー動作モードにより、搭載できるメモリーボードが異なります。また、動作クロックが 1600MHz のタイプと 1333MHz のタイプの 2 種類があります。システム装置に搭載するメモリーボードは、動作クロックをすべて同じにする必要があります。

形名	メモリー容量	動作クロック
...		

\*1: RS210 CM1モデルはサポートしておりません。

\*2: メモリー動作モードを「Mirroring」に設定して出荷するための専用形名です。

\*3: メモリー動作モードを「LockStep」に設定して出荷するための専用形名です。

\*4: メモリー動作モードを「Sparing」に設定して出荷するための専用形名です。

### 正

メモリーボードは 29 種類あります。出荷時のメモリー動作モードにより、搭載できるメモリーボードが異なります。また、動作クロックが 1600MHz のタイプと 1333MHz のタイプの 2 種類があります。システム装置に搭載するメモリーボードは、動作クロック、DIMM の種類および容量による制限があります。

形名	メモリー容量	動作クロック
...		
<b>MJ708GL3*1*5</b>	<b>8192MB</b>	<b>1333MHz</b>
<b>MJ716GL3*1*5</b>	<b>16384MB</b>	
<b>MJ748GL3C*1*5</b>	<b>49152MB (16384 x 3 枚)</b>	<b>1333MHz</b>
<b>MJ716GL3MEX*1*2*5</b>	<b>16384MB (8192MB x 2 枚)</b>	
<b>MJ732GL3MEX*1*2*5</b>	<b>32768MB (16384MB x 2 枚)</b>	<b>1333MHz</b>
<b>MJ716GL3LEX*1*3*5</b>	<b>16384MB (8192MB x 2 枚)</b>	
<b>MJ732GL3LEX*1*3*5</b>	<b>32768MB (16384MB x 2 枚)</b>	<b>1333MHz</b>
<b>MJ748GL3SEX*1*4*5</b>	<b>49152MB (8192MB x 6 枚)</b>	
<b>MJ796GL3SEX*1*4*5</b>	<b>98304MB (16384MB x 6 枚)</b>	<b>1333MHz</b>

\*1: RS210 CM1モデルはサポートしておりません。

\*2: メモリー動作モードを「Mirroring」に設定して出荷するための専用形名です。

\*3: メモリー動作モードを「LockStep」に設定して出荷するための専用形名です。

\*4: メモリー動作モードを「Sparing」に設定して出荷するための専用形名です。

\*5: 動作クロック1333MHzのWideRange Registered DIMM (8192MB/16384MB) は、他のメモリーボードと混在搭載できません。

- 「3 メモリーボードを取り付ける」「3.1 メモリーボードの種類」「3.1.1 メモリーボードの種類」(P.19)

### 表に次の内容を追加

メモリーボードの種類（形名）	設定	2 枚/チャネル	1 枚/チャネル
<b>MJ708GL3</b>	<b>AUTO (デフォルト)</b>	<b>1.35V</b>	<b>1.35V</b>
<b>MJ716GL3</b>			
<b>MJ748GL3C</b>	<b>1.5V</b>	<b>1.5V</b>	<b>1.5V</b>
<b>MJ716GL3MEX</b>			
<b>MJ732GL3MEX</b>			
<b>MJ716GL3LEX</b>			
<b>MJ732GL3LEX</b>			
<b>MJ748GL3SEX</b>			
<b>MJ796GL3SEX</b>			

- ・「3 メモリーボードを取り付ける」「3.1 メモリーボードの種類」「3.1.3 メモリーの動作クロック」(P.24)

### 表に次の内容を追加

メモリーボードの種類（形名）	メモリーボードの動作クロック <sup>*1</sup>	動作電圧設定 <sup>*2</sup>	搭載プロセッサーによるメモリーボードの動作クロック		
			インテル Xeon E5-2440/E5-2403	インテル Xeon E5-2440/E5-2420/E5-2430L	インテル Xeon E5-2470
MJ708GL3 MJ716GL3 MJ748GL3C MJ716GL3MEX MJ732GL3MEX MJ716GL3LEX MJ732GL3LEX MJ748GL3SEX MJ796GL3SEX	1333MHz	AUTO 1.5V	1066MHz	1333MHz	1333MHz

\*1: **1333MHz**・**32768MB**のメモリーボードと1600MHzのメモリーボードを混在搭載している場合は、すべてのメモリーボードが1333MHzのメモリーボードの動作クロックで動作します。

なお、133MHz: 1929MB/16384MBのメモリーボードは、その他のメモリーボードと混在搭載できません。

1

## ■ユーザーズガイド～BIOS編～

- 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」「2.3.4 Controller Properties:ディスクアレイコントローラ設定メニュー」「(1) Properties:コントローラプロパティサブメニュー1」(P.72、P.73)

誤		
設定項目	設定内容	設定値／表示
N Spinup Drive Count *3	システム起動時の物理ドライブ起動台数	0 ~ 8 / 【1】 / 【4】 *5
O Spinup Delay *3	システム起動時の物理ドライブ起動タイミング	0 ~ xxx / 【6】 / 【4】 *6
...		
*5 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定してください。		
*6 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定してください。		
正		
設定項目	設定内容	設定値／表示
N Spinup Drive Count *3	システム起動時の物理ドライブ起動台数	0 ~ 8 / <del>【1】</del> / <del>【4】</del> *5
O Spinup Delay *3	システム起動時の物理ドライブ起動タイミング	0 ~ xxx / 【6】 / 【4】 / 【2】 *6
...		
*5 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定してください。		
*6 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）【標準搭載】は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用：キャッシュバックアップ付）は「2」に設定してください。		

- 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」「2.3.4 Controller Properties:ディスクアレイコントローラ設定メニュー」「(1) Properties:コントローラプロパティサブメニュー1」(P.73)

次の補足の内容を削除	
補足	■設定値を変更する場合は、 ■「Spinup-Drive-Count」、「Spinup-Delay」の設定は固定されているため、設定値を変更しても反映されません。

- 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.4 論理ドライブの構築と編集」「2.4.1 論理ドライブを構築する」「(1) RAID 0,1,5,6 の論理ドライブを構築する」(P.90)
- 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.4 論理ドライブの構築と編集」「2.4.1 論理ドライブを構築する」「(2) RAID 10 の論理ドライブを構築する」(P.99)

**誤**

設定項目	設定内容	設定値
...		
Write Policy *...	ライトポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッシュバックアップ付ではないディスクアレイコントローラの場合 :</li> <li>キャッシュバックアップ付のディスクアレイコントローラの場合 :</li> </ul> <p>Write Through (ライトキャッシュ無効) / Always Write Back (ライトキャッシュ有効) / <u>【Write Back With BBU (キャッシュバックアップモジュール搭載時のみライトキャッシュ有効)】</u></p>
...		

**正**

設定項目	設定内容	設定値
...		
Write Policy *...	ライトポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッシュバックアップ付ではないディスクアレイコントローラの場合 :</li> <li>キャッシュバックアップ付のディスクアレイコントローラの場合 :</li> </ul> <p><u>Write Through (ライトキャッシュ無効) / Always Write Back (ライトキャッシュ有効) / 【Write Back With BBU (キャッシュバックアップモジュール搭載時のみライトキャッシュ有効)】</u></p>
...		

※ キャッシュバックアップ付のディスクアレイコントローラの、「Write Policy」デフォルト値を訂正

- 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.8 MegaRAID WebBIOS の設定値」「2.8.2 設定値一覧」(P.133、P.134)

誤

項目	設定値
Controller Properties	
Properties	
...	
Spinup Drive Count	[1 または 4] <sup>*2</sup>
Spinup Delay	[6 または 4] <sup>*3</sup>
...	
...	

\*1 ...

\*2 ディスクアレイコントローラ（内蔵用）【標準搭載】は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定します。

\*3 ディスクアレイコントローラ（内蔵用）【標準搭載】は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定します。

\*4 ディスクアレイコントローラ（内蔵用）【標準搭載】は「Enabled」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「Disabled」に設定されます。

正

項目	設定値
Controller Properties	
Properties	
...	
Spinup Drive Count	[1 または 4] <sup>*2</sup>
Spinup Delay	[6、4 または 2] <sup>*3</sup>
...	
...	

\*1 ...

\*2 ディスクアレイコントローラ（内蔵用）【標準搭載】は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定します。

\*3 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）【標準搭載】は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用：キャッシュバックアップ付）は「2」に設定します。

\*4 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）【標準搭載】は「Enabled」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「Disabled」に設定されます。

## 「Hitachi Compute Systems Manager」の バンドル開始について

2013年11月末以降に出荷されるシステム装置に、サーバ管理ソフトウェア「Hitachi Compute Systems Manager」(以降 HCSM)のバンドルを開始しました。次の説明をご一読いただき、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

### **HCSM の概要**

「HCSM」は、障害や性能・消費電力の監視、システムディスクのバックアップ・リストアなど、システム管理者の負担を軽減し、システム装置の安定運用を支援します。HCSM はエージェントレス管理、仮想化管理、サーバの性能監視などの特長を備えています。

使いかたの詳細は『Hitachi Compute Systems Manager Software, JP1/ServerConductor Blade Server Manager』DVD-ROM（以降『HCSM, JP1/SC BSM』DVD-ROM）に格納される次のマニュアルをご参照ください。

- 『Hitachi Command Suite Compute Systems Manager Software ユーザーズガイド』
- 『Hitachi Command Suite Compute Systems Manager Software 導入・設定ガイド』をご参照ください。

### **HCSM のバンドル形態**

「HCSM」は、「JP1/ServerConductor」と共にDVD-ROMに格納されます。

これにより、従来添付されていた『JP1/ServerConductor Blade Server Manager』CD-ROMは、システム装置に添付されません。

このため、ユーザーズガイドに記載の“『JP1/ServerConductor Blade Server Manager』CD-ROM”は、“『HCSM, JP1/SC BSM』DVD-ROM”に置き換えてお読みください。

### **HCSM 導入時の注意**

1つの管理対象（サーバ）を、「HCSM」と「JP1/ServerConductor」の両方で同時に管理することはできません。

導入時の注意や、「HCSM」と「JP1/ServerConductor」の選択基準については、『HCSM, JP1/SC BSM』DVD-ROMに格納される『サーバ管理ソフトウェア選択の手引き』をご参照ください。